

### 3 各部局等の BSD 活動

## 令和6年度BSD活動報告(様式)

課名 学務部学務課

参考資料: 令和5年度に提出された自己評価及び令和5年度の改善にむけての取組み予定 ※昨年提出していただいた情報を掲載しています。		
自己評価	令和5年度の自己評価	令和6年度の改善に向けての取組み予定
照会事項3 自己評価及び総評 令和5年度BSD活動の自己評価及び総評	3	

【令和5年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下は, 令和6年度の貴課の実施状況等を回答願います。

### ○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会, BSD関連の各種研修等(教員向けFD活動を活用したBSD研修, 学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について, 令和6年度の実施回数, 各回の講演会等の名称, 開催日, テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜, 行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数: 13回

名称	概要テーマ(内容)	開催日	参加人数(概数)	備考
令和6年度第1回全学FD研修会	新任教員説明会<教育・学生編>	4月4日	3名	主催, 全体64名
令和6年度第2回全学FD研修会	「文理融合・STEAM教育に関連した授業設計とは～教養教育、専門教育など多様な観点から考える～」	7月4日	6名	主催, 全体101名
知識集約型社会を支える人材育成事業(DP)採択校合同企画	「未来思考型ワークショップ 2024(アイデアソン)～『知識集約型社会を支える人材育成事業(DP)』が創造する大学教育の未来～」	8月28日	3名	主催, 全体85名
令和6年度第3回全学FD研修会	「イシューベースラーニングのすすめ～課題解決力や実践力を鍛えるための授業設計～」	9月27日	7名	主催, 全体56名
令和6年度第4回全学FD研修会	「FD活動報告書成果発表会」～学類等における組織的FDの取組事例～	11月1日	9名	主催, 全体43名
「知識集約型社会を支える人材育成事業(DP)」共通テーマ3 参加校合同主催・教学マネジメントセミナー2024	『文理横断の学びを支援する組織・方法・担い手について考える～文理融合・STEAM教育の時代における新しい学修支援～』	12月9日	9名	主催, 全体170名
令和6年度「文部科学省・知識集約型社会を支える人材育成事業(DP)総括シンポジウム	「新しい時代の大学教育につなぐメッセージ ～DP事業が目指し、創り上げてきた成果～」	3月6日	5名	主催, 全体192名
数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム 北信越ブロック 第4回シンポジウム	ダイバーシティ×数理・データサイエンス・AI教育 ～多様な数理・データサイエンス・AI人材の育成に向けて～	8月23日	3名	主催, 全体95名
数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム 北信越ブロック 第5回シンポジウム	人文・社会科学系 応用基礎レベル モデルシラバスと取組事例の紹介	2月10日	3名	主催, 全体76名
大学コンソーシアム石川 令和6年度 第1回FD/SD研修	「サステナビリティ時代の大学の持続的成長戦略を考える」～イノベーション、サステナビリティと地域貢献の統合化を目指して～	9月14日	1名	
大学コンソーシアム石川 令和6年度 第2回FD/SD研修	「心身の健康に役立つマインドフルネスとセルフ・コンパッション」(好奇心に満ちた気づきと自分に対する思いやり)	10月5日	1名	
大学コンソーシアム石川 令和6年度 第3回FD/SD研修	「金沢工業大学における教育ビッグデータの分析とその活用」	10月11日	1名	
大学コンソーシアム石川 令和6年度 第4回FD/SD研修	第3回北陸地区研究データ基盤セミナー 共催事業「データマネジメントプラン(DMP)から始まる研究データ管理と活用」	11月20日	1名	

※参加人数は, 貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は, 学外の大学等が主催する研修会の場合は主催名を記載してください。また, 所掌する委員会等が主催する研修会(FD研修会を除く)の場合は, 「主催」と全体の参加者数を記載してください。

○照会事項2 その他の活動状況

貴課において、上記以外のBSD活動を行っている場合は、記入してください。

--

○照会事項3 令和6年度BSD活動の自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定

貴課での令和6年度のBSD活動全体について、自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定を記載してください。

令和6年度の自己評価	総評	来年度の改善取組予定 自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載してください。
3	本学主催のFD研修会やセミナー、及び外部機関が主催する研修会に参加し、教員のFD活動の支援並びに学生の学修環境の充実とともに、理解を深めた。	

【今年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

## 令和6年度BSD活動報告(様式)

課名 学務部基幹教育支援課

参考資料: 令和5年度に提出された自己評価及び令和5年度の改善にむけての取組み予定 ※昨年提出していただいた情報を掲載しています。		
自己評価	令和5年度の自己評価	令和6年度の改善に向けての取組み予定
照会事項3 自己評価及び総評 令和5年度BSD活動の自己評価及び総評	3	次年度も引き続き実施・参加する。

【令和5年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下は, 令和6年度の貴課の実施状況等を回答願います。

### ○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会, BSD関連の各種研修等(教員向けFD活動を活用したBSD研修, 学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について, 令和6年度の実施回数, 各回の講演会等の名称, 開催日, テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜, 行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数:1回

名称	概要テーマ(内容)	開催日	参加人数(概数)	備考
令和6年度前期 学生相談担当者研修会	なんでも相談室の基本方針, ハラスメント相談への対応, 相談をうけるときの基本的な態度, 共通教育のカリキュラムや履修登録の方法等の説明をオンデマンドで実施した。	オンデマンド	4名程度	主催(全体参加者数11名程度)

※参加人数は, 貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は, 学外の大学等が主催する研修会の場合は主催名を記載してください。また, 所掌する委員会等が主催する研修会(FD研修会を除く)の場合は, 「主催」と全体の参加者数を記載してください。

### ○照会事項2 その他の活動状況

貴課において, 上記以外のBSD活動を行っている場合は, 記入してください。

国際基幹教育院主催FD研修会に毎回1~5名程度が参加している。
---------------------------------

### ○照会事項3 令和6年度BSD活動の自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定

貴課での令和6年度のBSD活動全体について, 自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定を記載してください。

令和6年度の自己評価	総評	来年度の改善取組予定 自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は, 必ず記載してください。
3	「学生相談担当者研修会」は, 毎年相談員となるメンバーが変わるため, 継続した開催が必要と思われる。	令和7年度も引き続き実施・参加する。

【今年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

## 令和6年度BSD活動報告(様式)

課名 学務部学生支援課

参考資料: 令和5年度に提出された自己評価及び令和5年度の改善にむけての取組み予定 ※昨年提出していただいた情報を掲載しています。		
自己評価	令和5年度の自己評価	令和6年度の改善に向けての取組み予定
照会事項3 自己評価及び総評 令和5年度BSD活動の自己評価及び総評	3	教職員のニーズを反映した講師・内容で、自死防止に関する研修会を継続して開催する。

【令和5年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下は、令和6年度の貴課の実施状況等を回答願います。

### ○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会, BSD関連の各種研修等(教員向けFD活動を活用したBSD研修, 学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について、令和6年度の実施回数, 各回の講演会等の名称, 開催日, テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜, 行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数: 1回

名称	概要テーマ(内容)	開催日	参加人数(概数)	備考
学生・教職員の自死防止のための研修会	災害を乗り越えるために一人ひとりができること	12月9日	5名	学生自死防止専門委員会主催, 全学FD委員会共催, 全体80名

※参加人数は、貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は、学外の大学等が主催する研修会の場合は主催名を記載してください。また、所掌する委員会等が主催する研修会(FD研修会を除く)の場合は、「主催」と全体の参加者数を記載してください。

### ○照会事項2 その他の活動状況

貴課において、上記以外のBSD活動を行っている場合は、記入してください。

・保健管理センターや障がい学生支援室, キャリア支援課窓口の有機的な連携に事務職員も貢献し, 対応状況を共有することでBSDにつなげている。

### ○照会事項3 令和6年度BSD活動の自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定

貴課での令和6年度のBSD活動全体について、自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定を記載してください。

令和6年度の自己評価	総評	来年度の改善取組予定 自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載してください。
3	令和6年能登半島地震発災後、災害後のメンタルヘルスの問題をテーマとして研修会を行い、教員、職員、専門職等が連携することの重要性を再認識し、学生支援体制の強化につながった。また、平素から複数窓口の連携が必要な問題のある学生に関し、事務職員も積極的に関与することがOJTに結びついている。	教職員のニーズを反映した講師・内容で、自死防止に関する研修会を継続して開催する。

【今年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

## 令和6年度BSD活動報告(様式)

課名 学務部キャリア支援課

参考資料: 令和5年度に提出された自己評価及び令和5年度の改善にむけての取組み予定  
※昨年提出していただいた情報を掲載しています。

自己評価	令和5年度の自己評価	令和6年度の改善に向けての取組み予定

【令和5年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下は, 令和6年度の貴課の実施状況等を回答願います。

### ○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会, BSD関連の各種研修等(教員向けFD活動を活用したBSD研修, 学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について, 令和6年度の実施回数, 各回の講演会等の名称, 開催日, テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜, 行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数: 5回

名称	概要テーマ(内容)	開催日	参加人数(概数)	備考
就業支援基礎研修	雇用と福祉の分野横断的な基礎的知識・スキルを付与する研修	令和6年9月3・6・10日	2名	石川障害者職業センター主催
インターンシップ専門人材セミナー～基礎編～	インターンシップ専門人材として必要になる実践的なスキルの向上	令和6年9月20日	1名	日本学生支援機構主催
国立大学キャリア支援担当者情報共有分科会	各国立大学のキャリア支援担当者とのキャリア支援等に関する情報交換	令和6年9月27日	1名	株式会社レグルス主催
大学等と企業との就職に関する情報交換会	大学と企業との就職支援に関する取組, 就職状況等に関するディスカッション	令和6年10月22日	2名	金沢市主催
インターンシップ専門人材研修会	インターンシップ専門人材として必要になる実践的なスキルの向上	令和6年11月22日 12月10日	2名	(一社)産学協働人材育成コンソーシアム主催

※参加人数は, 貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は, 学外の大学等が主催する研修会の場合は主催名を記載してください。また, 所掌する委員会等が主催する研修会(FD研修会を除く)の場合は, 「主催」と全体の参加者数を記載してください。

### ○照会事項2 その他の活動状況

貴課において, 上記以外のBSD活動を行っている場合は, 記入してください。

--

### ○照会事項3 令和6年度BSD活動の自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定

貴課での令和6年度のBSD活動全体について, 自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定を記載してください。

令和6年度の自己評価	総評	来年度の改善取組予定 自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は, 必ず記載してください。
3	各機関で実施している研修や情報交換会への参加を通して, 職員の知識向上やスキルアップに努めている。また, 研修等で得た情報については, 課内で情報共有している。	

【今年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

## 令和6年度BSD活動報告(様式)

課名 学務部入試課

参考資料: 令和5年度に提出された自己評価及び令和5年度の改善にむけての取組み予定 ※昨年提出していただいた情報を掲載しています。		
自己評価	令和5年度の自己評価	令和6年度の改善に向けての取組み予定
照会事項3 自己評価及び総評 令和5年度BSD活動の自己評価及び総評	3	

【令和5年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下は, 令和6年度の貴課の実施状況等を回答願います。

### ○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会, BSD関連の各種研修等(教員向けFD活動を活用したBSD研修, 学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について, 令和6年度の実施回数, 各回の講演会等の名称, 開催日, テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜, 行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数:1回

名称	概要テーマ(内容)	開催日	参加人数(概数)	備考
令和7年度入学者選抜試験(一般選抜)合格者判定資料等に関する説明会	主体性評価方法及び合格者判定資料等についての説明をオンデマンドで実施	1月21日	6名	主催, 全体96名

※参加人数は, 貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は, 学外の大学等が主催する研修会の場合は主催名を記載してください。また, 所掌する委員会等が主催する研修会(FD研修会を除く)の場合は, 「主催」と全体の参加者数を記載してください。

### ○照会事項2 その他の活動状況

貴課において, 上記以外のBSD活動を行っている場合は, 記入してください。

令和7年度入学者選抜試験(一般選抜)事務担当者打ち合わせ会及び案内業務説明会を, 令和5年度に引き続きオンデマンド形式で実施し, 繁忙期においても担当者がいつでも繰り返し内容を確認可能とした。

### ○照会事項3 令和6年度BSD活動の自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定

貴課での令和6年度のBSD活動全体について, 自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定を記載してください。

令和6年度の自己評価	総評	来年度の改善取組予定 自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は, 必ず記載してください。
3	令和5年度と同様の取り組みを実施し, 令和7年度入学者選抜試験を無事に実施することができた。	

【今年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

## 令和6年度BSD活動報告(様式)

課名 融合系事務部学生課

参考資料: 令和5年度に提出された自己評価及び令和5年度の改善にむけての取組み予定 ※昨年提出していただいた情報を掲載しています。		
自己評価	令和5年度の自己評価	令和6年度の改善に向けての取組み予定
照会事項3 自己評価及び総評 令和5年度BSD活動の自己評価及び総評	3	引き続き、融合学域FD研修会、融合学域教員研究シーズ紹介、各学類ワークショップ等に参加する。(融合学域) 今年度も引き続き、教員と課題について共有を図り、FD研修会の企画・実施を進める。(新学術創成研究科)

【令和5年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

以下は、令和6年度の貴課の実施状況等を回答願います。

### ○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会、BSD関連の各種研修等(教員向けFD活動を活用したBSD研修、学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について、令和6年度の実施回数、各回の講演会等の名称、開催日、テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜、行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数: 21 回

名称	概要テーマ(内容)	開催日	参加人数 (概数)	備考
第18回融合学域FD研修会	「確立科目/融合研究・演習・試験[卒研相当]について」	令和6年5月30日	6名	全体28名
第19回融合学域FD研修会	「確立科目/融合研究・演習・試験[卒研相当]について その2」	令和6年6月27日	5名	全体20名
第20回融合学域FD研修会	「GPS-Academic(問題解決力測定テスト)の概要・前年度結果・今年度実施予定等」	令和6年7月25日	5名	全体18名
第21回融合学域FD研修会	「文理医融合教育」	令和6年11月28日	5名	全体19名
第22回融合学域FD研修会	「融合学域ふりかえり」	令和6年12月26日	5名	全体24名
第23回融合学域FD研修会	「確立科目その他」	令和7年2月27日	4名	全体23名
第24回融合学域FD研修会	「新年度の課題」	令和7年3月27日	5名	全体28名
研究シーズ紹介	融合研究域教員の研究紹介	令和6年6月13日	5名	全体40名
研究シーズ紹介	融合研究域教員の研究紹介	令和6年7月11日	5名	全体40名
研究シーズ紹介	融合研究域教員の研究紹介	令和6年10月10日	5名	全体43名
研究シーズ紹介	融合研究域教員の研究紹介	令和6年11月14日	6名	全体42名
研究シーズ紹介	融合研究域教員の研究紹介	令和6年12月12日	6名	全体43名
研究シーズ紹介	融合研究域教員の研究紹介	令和7年1月9日	6名	全体44名
第1回先導学類ワークショップ	令和7年度以降カリキュラム ほか	令和6年10月4日	6名	全体25名
第2回先導学類ワークショップ	令和7年度以降カリキュラム ほか	令和6年12月26日	6名	全体24名
第3回先導学類ワークショップ	令和7年度以降カリキュラム ほか	令和7年1月17日	6名	全体27名
第1回観光デザイン学類ワークショップ	復興・産業創生に向けての地域連携推進 ほか	令和6年10月15日	6名	全体23名
第2回観光デザイン学類ワークショップ	令和7年度授業担当教員 ほか	令和6年12月3日	6名	全体22名
スマート創成科学類ワークショップ	令和7年度授業担当教員 ほか	令和6年10月24日	6名	全体26名
新学術創成研究科 融合科学共同専攻FD研修会	JAISTと合同実施の授業における課題や改善及び学生募集について	令和7年3月10日	1名	全体12名 他JAIST教員
新学術創成研究科 ナノ生命科学専攻FD研修会	博士後期課程における標準修業年限内での修了に向けた現状の課題について	令和7年3月26日	1名	全体13名

※参加人数は、貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は、学外の大学等が主催する研修会の場合は主催名を記載してください。また、所掌する委員会等が主催する研修会(FD研修会を除く)の場合は、「主催」と全体の参加者数を記載してください。

○照会事項2 その他の活動状況

貴課において、上記以外のBSD活動を行っている場合は、記入してください。

--

○照会事項3 令和6年度BSD活動の自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定

貴課での令和6年度のBSD活動全体について、自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定を記載してください。

令和6年度の自己評価	総評	来年度の改善取組予定 自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載してください。
3	融合学域FD研修会、融合学域教員研究シーズ紹介、及び学類ワークショップに参加し、教員との情報共有を行った。 新学術創成研究科各専攻のFD研修会に参加し、JAIST教員も含めて、教員の研究内容や、各専攻における課題の共有を図ることができた。	引き続き、融合学域FD研修会、融合学域教員研究シーズ紹介、各学類ワークショップ、及び新学術創成研究科FD研修会等に参加する。 教員との貴重な情報共有の場であるため、事務職員の参加人数を増やす。

【今年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

## 令和6年度BSD活動報告(様式)

課名 人間社会系事務部学生課

参考資料: 令和5年度に提出された自己評価及び令和5年度の改善にむけての取組み予定 ※昨年提出していただいた情報を掲載しています。		
自己評価	令和5年度の自己評価	令和6年度の改善に向けての取組み予定
照会事項3 自己評価及び総評 令和5年度BSD活動の自己評価及び総評	3	

【令和5年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下は, 令和6年度の貴課の実施状況等を回答願います。

### ○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会, BSD関連の各種研修等(教員向けFD活動を活用したBSD研修, 学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について, 令和6年度の実施回数, 各回の講演会等の名称, 開催日, テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜, 行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数: 3回

名称	概要テーマ(内容)	開催日	参加人数(概数)	備考
国立大学法人等情報化要員研修	LLMプロンプトエンジニアリング研修 ~ ChatGPTで質問力を鍛えて「面倒業務」を効率化~	11月22日	1名	主催(国立大学法人等情報化連絡協議会)
人間社会学域FD研修会(第1回)	学類・専攻における教学マネジメントの要点	12月17日	1名	
第17回障がい学生支援セミナー	障害者差別解消法に基づいた学生支援	2月20日	2名	主催(大学コンソーシアム石川)

※参加人数は, 貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は, 学外の大学等が主催する研修会の場合は主催名を記載してください。また, 所掌する委員会等が主催する研修会(FD研修会を除く)の場合は, 「主催」と全体の参加者数を記載してください。

### ○照会事項2 その他の活動状況

貴課において, 上記以外のBSD活動を行っている場合は, 記入してください。

--

### ○照会事項3 令和6年度BSD活動の自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定

貴課での令和6年度のBSD活動全体について, 自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定を記載してください。

令和6年度の自己評価	総評	来年度の改善取組予定 自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は, 必ず記載してください。
3	課独自に研修を行うことは負担が大きいことから難しいものの, 業務効率化及び学生系に関わるテーマの研修会を活用し, BSD活動を行うことが出来た。	

【今年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

## 令和6年度BSD活動報告(様式)

課名 理工系事務部学生課

参考資料: 令和5年度に提出された自己評価及び令和5年度の改善にむけての取組み予定 ※昨年提出していただいた情報を掲載しています。		
自己評価	令和5年度の自己評価	令和6年度の改善に向けての取組み予定
照会事項3 自己評価及び総評 令和5年度BSD活動の自己評価及び総評	2	来年度の活動予定において、時期の移動や回数増などの変更は予定していない。

【令和5年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

以下は、令和6年度の貴課の実施状況等を回答願います。

### ○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会, BSD関連の各種研修等(教員向けFD活動を活用したBSD研修, 学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について、令和6年度の実施回数, 各回の講演会等の名称, 開催日, テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜, 行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数: 1回

名称	概要テーマ(内容)	開催日	参加人数(概数)	備考
理工学域・自然科学研究科 第16回FDシンポジウム	理工系専門教育における反転授業の実践と効果	3月25日	3名	主催, 全体75名

※参加人数は、貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は、学外の大学等が主催する研修会の場合は主催名を記載してください。また、所掌する委員会等が主催する研修会(FD研修会を除く)の場合は、「主催」と全体の参加者数を記載してください。

### ○照会事項2 その他の活動状況

貴課において、上記以外のBSD活動を行っている場合は、記入してください。

--

### ○照会事項3 令和6年度BSD活動の自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定

貴課での令和6年度のBSD活動全体について、自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定を記載してください。

令和6年度の自己評価	総評	来年度の改善取組予定 自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載してください。
3	山梨大学で長年取り組まれてきた「反転授業」の解説と、その学習効果をテーマにした講演では、反転授業の具体的な取り組みを示してもらいイメージが湧いたとの感想や、教員からのたくさんの質問があったことで、関心の高さが伺え、大変有意義なシンポジウムとなり、教員のFD活動の支援ができた。	

【今年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

## 令和6年度BSD活動報告(様式)

課名 医薬保健系事務部学生課

参考資料: 令和5年度に提出された自己評価及び令和5年度の改善にむけての取組み予定 ※昨年提出していただいた情報を掲載しています。		
自己評価	令和5年度の自己評価	令和6年度の改善に向けての取組み予定
照会事項3 自己評価及び総評 令和5年度BSD活動の自己評価及び総評	4	

【令和5年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下は, 令和6年度の貴課の実施状況等を回答願います。

### ○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会, BSD関連の各種研修等(教員向けFD活動を活用したBSD研修, 学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について, 令和6年度の実施回数, 各回の講演会等の名称, 開催日, テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜, 行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数:11回

名称	概要テーマ(内容)	開催日	参加人数(概数)	備考
第1回医学系FD研修会	金沢大学医学類の教育理念・3つのポリシー	4月	3名	
第2回医学系FD研修会	学びを促す授業設計に向けて 目標・活動・評価の整合性をはかるには	5月13日	3名	
第3回医学系FD研修会	プロフェッショナリズム	6月17日	3名	
第4回医学系FD研修会	多職種連携教育(IPE)の実践例と今後に向けて	7月22日	3名	
第5回医学系FD研修会	マルチモビリティをバランスよく見るための妄想力を鍛えるカンファレンス(通称:マルモカンファレンス)をやってみよう!	10月31日	3名	
第6回医学系FD研修会	どうする?多職種連携教育～物理的距離を超えよう～	11月12日	3名	
第7回医学系FD研修会	臨床タイアップセッション ～臨床ナースの力を借りて事例をもとに状況判断能力を養う	12月9日	3名	
学生の自死防止のための研修会(金沢大学学生自死防止専門委員会)	災害を乗り越えるために一人ひとりができること	12月9日	6名	
第8回医学系FD研修会	学生の学びを促すアクティブラーニングの技法	1月20日	3名	
第9回医学系FD研修会	入学から卒業までのシームレスな学生支援に向けて～医学生をプロフェッショナルな医師へと育成するために教員ができること～	2月10日	3名	
第10回医学系FD研修会	人工知能(AI)と教育-AIが人を教育する未来	2月18日	3名	

※参加人数は, 貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は, 学外の大学等が主催する研修会の場合は主催名を記載してください。また, 所掌する委員会等が主催する研修会(FD研修会を除く)の場合は, 「主催」と全体の参加者数を記載してください。

### ○照会事項2 その他の活動状況

貴課において, 上記以外のBSD活動を行っている場合は, 記入してください。

--

○照会事項3 令和6年度BSD活動の自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定

貴課での令和6年度のBSD活動全体について、自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定を記載してください。

令和6年度の自己評価	総評	来年度の改善取組予定 自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載してください。
4	令和5年度より設置の医療人材教育研究センターによるFD研修会と合同で医学系FD研修会を実施しており、事務職員が参加しやすい環境が整っている。	

【今年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

## 令和6年度BSD活動報告(様式)

課名 医薬保健系事務部薬学・がん研支援課

参考資料: 令和5年度に提出された自己評価及び令和5年度の改善にむけての取組み予定 ※昨年提出していただいた情報を掲載しています。		
自己評価	令和5年度の自己評価	令和6年度の改善に向けての取組み予定
照会事項3 自己評価及び総評 令和5年度BSD活動の自己評価及び総評	3	

【令和5年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

以下は, 令和6年度の貴課の実施状況等を回答願います。

### ○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会, BSD関連の各種研修等(教員向けFD活動を活用したBSD研修, 学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について, 令和6年度の実施回数, 各回の講演会等の名称, 開催日, テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜, 行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数: 1回

名称	概要テーマ(内容)	開催日	参加人数(概数)	備考
薬学4年制課程卒業生の薬剤師国家試験受験資格認定に関する勉強会	薬学4年制課程の卒業生が薬剤師国家試験受験資格を取得できる制度について, 制度の概要や手続きに必要な知識の勉強会を行った。	9月26日	2名	

※参加人数は, 貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は, 学外の大学等が主催する研修会の場合は主催者を記載してください。また, 所掌する委員会等が主催する研修会(FD研修会を除く)の場合は, 「主催」と全体の参加者数を記載してください。

### ○照会事項2 その他の活動状況

貴課において, 上記以外のBSD活動を行っている場合は, 記入してください。

--

### ○照会事項3 令和6年度BSD活動の自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定

貴課での令和6年度のBSD活動全体について, 自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定を記載してください。

令和6年度の自己評価	総評	来年度の改善取組予定 自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は, 必ず記載してください。
3	「研修」という形式にまでは至らないものの, 日常業務のOJTによる教務システムや教員が利用するWebClassの使い方などの知識向上やスキルアップに努めている。また, 専門部署や関係教員等にアドバイスを求め, その内容等の情報共有を課内で密に行っている。	

【今年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

## 令和6年度BSD活動報告(様式)

課名 医薬保健系事務部保健学支援課

参考資料: 令和5年度に提出された自己評価及び令和5年度の改善にむけての取組み予定  
※昨年提出していただいた情報を掲載しています。

自己評価	令和5年度の自己評価	令和6年度の改善に向けての取組み予定
照会事項3 自己評価及び総評 令和5年度BSD活動の自己評価及び総評	3	

【令和5年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

以下は, 令和6年度の貴課の実施状況等を回答願います。

### ○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会, BSD関連の各種研修等(教員向けFD活動を活用したBSD研修, 学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について, 令和6年度の実施回数, 各回の講演会等の名称, 開催日, テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜, 行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数:3回

名称	概要テーマ(内容)	開催日	参加人数(概数)	備考
令和6年度第1回保健学系FD研修会	セルフタッチング ストレスをコントロールしよう!	令和6年8月7日	5名	全体参加人数57名
令和6年度第2回保健学系FD研修会	発達障害について-学生の苦しさを知る	令和6年11月6日	5名	全体参加人数45名
令和6年度第3回保健学系FD研修会	高大接続の足がかり~高校現場の視点から	令和7年1月8日	5名	全体参加人数42名

※参加人数は, 貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は, 学外の大学等が主催する研修会の場合は主催名を記載してください。また, 所掌する委員会等が主催する研修会(FD研修会を除く)の場合は, 「主催」と全体の参加者数を記載してください。

### ○照会事項2 その他の活動状況

貴課において, 上記以外のBSD活動を行っている場合は, 記入してください。

--

### ○照会事項3 令和6年度BSD活動の自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定

貴課での令和6年度のBSD活動全体について, 自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定を記載してください。

令和6年度の自己評価	総評	来年度の改善取組予定 自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は, 必ず記載してください。
3	現在の学生の特徴や, こころの健康のサポート, ハラスメント防止をテーマとした教員向けのFD研修会への参加を通じて, 学生への支援のあり方について理解を深めることができた。	

【今年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

## 令和6年度BSD活動報告(様式)

課名 国際部留学企画課

参考資料: 令和5年度に提出された自己評価及び令和5年度の改善にむけての取組み予定 ※昨年提出していただいた情報を掲載しています。		
自己評価	令和5年度の自己評価	令和6年度の改善に向けての取組み予定
照会事項3 自己評価及び総評 令和5年度BSD活動の自己評価及び総評	3	

【令和5年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

以下は, 令和6年度の貴課の実施状況等を回答願います。

## ○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会, BSD関連の各種研修等(教員向けFD活動を活用したBSD研修, 学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について, 令和6年度の実施回数, 各回の講演会等の名称, 開催日, テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜, 行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数:3回

名称	概要テーマ(内容)	開催日	参加人数(概数)	備考
大学国際教育交流・派遣留学 管理者向け危機管理オンラインセミナー	『海外派遣留学のトラブル事例に学ぶ大学の危機管理』～国際交流専門の弁護士による基調講演: 派遣留学における大学の法的責任～	6月24日	1名	日本アイラック主催
入国管理行政・申請取次制度講習会	入国管理局業務の最新情勢と申請取次制度	6月28日	3名	主催, 全体42名
第2回実践英語研修	「Supporting Students Face-to-Face, by E-mail and on the Telephone」	7月11日	1名	ブリティッシュ・カウンシル・JAFSA共催

※参加人数は, 貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は, 学外の大学等が主催する研修会の場合は主催名を記載してください。また, 所掌する委員会等が主催する研修会(FD研修会を除く)の場合は, 「主催」と全体の参加者数を記載してください。

## ○照会事項2 その他の活動状況

貴課において, 上記以外のBSD活動を行っている場合は, 記入してください。

--

## ○照会事項3 令和6年度BSD活動の自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定

貴課での令和6年度のBSD活動全体について, 自己評価及び総評並びに来年度の改善取組予定を記載してください。

令和6年度の自己評価	総評	来年度の改善取組予定 自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は, 必ず記載してください。
3	日本人学生の海外派遣支援業務に携わる際に, 最も重要な知識である「危機管理」と, 外国人留学生を受入れる際に, 最初の重要なステップである「CoE申請」についての講習を事務職員が受講したことにより, 留学企画課として必要なスキルの底上げができた。	

【今年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

### 3-1 照会事項 1 BSD 研修会の実施状況

#### (参考)

名称	内容	参加人数 (概数)	備考
令和6年度金沢大学初任者研修	事務・技術系の初任職員に対して、本学の基本的事項について講義、見学体験等の多様なプログラムを提供し、「金沢大学職員」としての基礎的な能力を身につけさせることにより、今後の大学事務執行の円滑化を図る。	15名	金沢大学
令和6年度金沢大学初任者研修(フォローアップ研修)	本研修は、以下の事項を目的として実施する。 ・主に大綱化以降の高等教育及び大学職員の役割の変化、さらに本学の未来ビジョンを理解し、大学が直面する課題や将来の方向性について洞察を得ることで、本学職員として広い視野を養う。 ・自身の業務経験を振り返り、成長を自覚し、モチベーションを持続・向上させる。 ・先輩職員との交流を通じて仕事への不安や悩みを軽減し、中長期的なキャリア形成を考える機会とする。	10名	金沢大学
令和6年度「一 未来を切り拓く心のか一 レジリエンス向上研修」	近年、少子化の急速な進行をはじめ、大学を取り巻く諸情勢が大きく変化し、教育研究など大学が行う業務は高度化・複雑化している。事務系職員においても、その職務はこれまで以上に多様化・複雑化し、役割の高度化が求められている。このような状況の中、本学のあるべき姿「未来ビジョン」の実現に向けて、職員一人ひとりが心身の健康を維持しながら、様々な困難や変化に柔軟に対応し、持続的に成長していくことが重要であり、かつ必要である。本研修は、事務系職員のこのような心のか=レジリエンスの向上と、それに伴うモチベーションの向上を目的として実施する。	24名	金沢大学
令和6年度北陸地区国立大学法人等初任者研修	新たに採用された事務系・技術系職員に対し、国立大学法人等事務に関する基礎的知識を修得させ、事務能率の増進を図ることを目的とする。	13名	金沢大学
令和6年度北陸地区国立大学法人等マネジメント研修	国立大学法人を取り巻く環境が大きく変化する中、大学の事務組織には、変化に即応し、課題を解決する能力が求められる。そのためには、管理職が組織の力を最大限に活用することが必要であることから、それらを実現するための、マネジメント能力の向上を図ることを目的とする。	6名	金沢大学
令和6年度北陸地区国立大学法人等中堅職員研修	北陸地区国立大学法人等の中堅職員に対し、役割認識と職務に必要な知識及び能力を付与することにより、職務遂行能力の増進を図ることを目的とする。	15名	北陸先端科学技術大学院大学

### 3-1 照会事項 1 BSD 研修会の実施状況

名称	内容	参加人数 (概数)	備考
令和6年度北陸地区国立大学法人等新任係長・専門職員研修	北陸地区国立大学法人等の係長・専門職員としての心構え及び職務遂行に必要な基本的、一般的知識を修得させるとともに、係長・専門職員としての能力及び識見を確立させ、国立大学法人等の管理運営の重要な担い手としての資質向上を図ることを目的とする。	10名	福井大学
令和6年度北陸地区国立大学法人等リーダーシップ研修	北陸地区の国立大学法人、独立行政法人国立高等専門学校機構及び独立行政法人国立青少年教育振興機構の機関（以下「国立大学法人等機関」という。）の管理職員に対し、立場と役割を認識し、能力及び識見を確立させ、職員としての資質向上を図ることを目的とする。	3名	富山大学
令和6年度国立大学法人等部課長級研修	国立大学法人等の部長級、課長級職員を対象に、大学運営の基本的知識の修得と幹部職員としての能力の向上を図る。	1名	国立大学協会
2024年度国立大学法人等若手職員勉強会	国立大学等の継続的な発展に貢献する若手職員の力量向上 ①所属機関全体や職員としての役割・課題を自覚し、当事者意識を持って考える ②国立大学法人等とそれを取り巻く実状について主体的に学ぶ ③職員として必要な資質やマインドに気づき、自らが目指すべき職員像を意識する ④他機関の職員とのコミュニケーションを通してネットワークを構築する ⑤成果を所属機関へフィードバックし、各機関の発展に貢献する	1名	一般社団法人 国立大学協会
第20回中部地区メンター養成研修	職場におけるメンター、メンタリングに関する基本的な知識とコミュニケーション・スキルを習得させる。	1名	人事院中部事務局
第13回国立六大学事務職員研修会	本研修会は、千葉大学、新潟大学、金沢大学、岡山大学、長崎大学及び熊本大学の国立六大学の事務職員が、国立六大学連携コンソーシアムの趣旨を踏まえ、その具体的な連携・協力の推進や、大学間の垣根を越えた職員同士のネットワークの構築などを目的として実施するものである。	5名	千葉大学
石川県研修「行政クレーム対応研修」	行政クレームへの対処方法を学ぶとともに、円滑な県民対応に資するコミュニケーション能力の向上を図る。	3名	石川県自治研修センター
石川県「説明力向上研修」	県民や上司などに対して、正確で分かりやすく説明するために必要なスキルやコツなどを実践的な演習を通して習得する。	4名	石川県自治研修センター
石川県「セルフケア能力向上研修」	心の調節力を高め、職務遂行上の適度なストレスと上手に付き合うための知恵を学び、生き生きと活動するためのセルフケア能力の向上を図る。	6名	石川県自治研修センター
石川県「ネゴシエーションスキル(交渉力)向上研修」	窓口などの渉外業務を遂行する上で必要となる実践的な交渉力の向上を図る。	5名	石川県自治研修センター

### 3-1 照会事項 1 BSD 研修会の実施状況

名称	内容	参加人数 (概数)	備考
令和6年度東海・北陸地区 国立大学法人等人事担当者 (係長級以下) 研修	この研修は、東海・北陸地区の国立大学法人、大学共同利用機関法人、独立行政法人国立高等専門学校機構及び独立行政法人国立青少年教育振興機構の機関以下「国立大学法人等機関」という。)の人事担当者(係長級以下)に対し、役割認識と職務に必要な知識及び能力を付与することにより、法人職員の資質の向上と職務遂行能力の増進を図ることを目的とする。	3名	福井大学
令和6年度東海・北陸地区 国立大学法人等会計事務職員 研修会	東海・北陸地区国立大学法人等の事務職員に対して、国立大学法人会計基準等に関する知識を習得させ、かつ、国立大学法人等職員として必要となる見識を研修することにより、各職員の資質の向上を図ることを目的とする。	6名	三重大学
令和6年度国立大学法人等 施設担当職員研修会(初任ク ラス)	国立大学法人等の施設担当職員として自己の能力を十分に発揮できるよう、国立大学法人等の現況や動向などの概論について理解させるとともに、国立大学法人等の施設整備に係る多様な業務について、初任職員として必要な基礎的知識を習得させる。また、グループごとに課題テーマに対して全員で討議を行い、メンバーの相互コミュニケーションを通じてテーマに対する理解を深め、今後、業務に生かすことのできる人的ネットワークの構築を図る。	1名	国立大学協会
令和6年度国立大学法人等 施設担当職員研修会(中堅 クラス)	国立大学法人等の施設担当職員のうち、中堅職員を対象として、施設整備を巡る現状と課題についてその知識を深めるとともに、人的ネットワークを構築・活用し、将来の大学経営を担う人材育成することを目的として、施設担当者職員研修を実施する。	1名	国立大学法人 等施設担当部 課長会 一般社団法人 国立大学協会 東京地区支部 及び関東・甲信 越地区支部
令和6年度大学図書館職員 長期研修	全国の大学図書館等において将来的に運営の中核を担うことが期待される職員に対し、学術情報に関する最新の知識を教授するとともに、図書館経営・情報サービスの在り方について再教育を行い、職員の資質とマネジメント・企画等の能力の向上を図ることにより、大学図書館等の情報提供サービス体制を充実させることを目的とする。	1名	筑波大学
大学図書館員のためのIT総 合研修	本研修は、大学図書館等がサービスを提供する上で必要な、IT技術の理解を深めることを目的とする。大学等研究機関の図書館は利用案内等を掲載するWebページや、自館の所蔵資料を検索できるOPAC等を公開している。近年ではWebページの作成はCMS(Content Management System)によるところが多く、HTML・CSS・	1名	国立情報学研 究所

### 3-1 照会事項 1 BSD 研修会の実施状況

	名称	内容	参加人数 (概数)	備考
		<p>JavaScript に関する基本的な知識を修得する機会は少ない。</p> <p>本研修では、大学等研究機関の図書館で必要とされる Web でのコンテンツ公開にかかる基本的な事項（Web サイトの仕組み、HTML・CSS の記述、簡単な JavaScript の記述）について、解説や演習を通して、理解する。なお、Web サイトの公開にあたっては、GitHub を使用する。</p> <p>こうした実践を踏まえた理解を通して、Web ページや OPAC 等のあり方をシステムベンダーやシステム管理者と協議・構想するための知識や技術を修得する機会を提供する。</p>		
	令和 6 年度就業支援基礎研修	福祉、教育医療等の機関において障害者の就業支援を担当している者を対象に障害者の就業支援に必要な基礎的知識・技術等の習得を目的とする。	2 名	独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構